

2024年10月21日発行

●トピックス&お知らせ

- ・深海魚「キンメダイ」を利用した魚醤を開発しました
～食品工業技術センターと企業が共同開発～
- ・三河木綿の色調を生かしたセルロースナノファイバーを開発しました
- ・明日を拓くモノづくり新技術2024「検査評価技術の最前線」の参加者を募集します
- ・知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期成果普及セミナー
「位相コントラスト X線 CT の体験セミナー」の参加者を募集します
- ・「材料表面改質トライアルコア講演会」の参加者を募集します
- ・センター職員が指導功労者として中部科学技術センター会長賞を受賞しました

●技術紹介

- ・部材開発における機械学習の活用メリット
- ・金属材料の曲げ試験について
- ・3D フードプリンターについて

<編集・発行> あいち産業科学技術総合センター 〒470-0356 豊田市八草町秋合 1267-1
<https://www.aichi-inst.jp/> TEL: 0561-76-8301 E-mail: acist@pref.aichi.lg.jp



◆深海魚「キンメダイ」を利用した魚醤を開発しました ～食品工業技術センターと企業が共同開発～

食品工業技術センターは、喜栄丸カベヤ水産加工(蒲郡市)と共同で、キンメダイを利用した魚醤「深海ギョの魚醤 キンメダイまるごと」を開発しました。

ここ2、3年はキンメダイの捕獲量が増加しており、多く獲れた魚を活かしきることで廃棄を減らすことを主眼とした試みです。本製品は、熟成時の温度をコントロールすることにより、夏以外でも分解を進行させることができ、従来方法では醸造期間が2年～3年必要なところ、9か月程度に短縮することができました。本取組は2022年度あいち中小企業応援ファンド(地場産業枠・農商工連携枠)の成果を発展させたものであり、キンメダイの魚醤製品開発は本県では初の試みです。

2024年10月12日(土)から竹島水族館第2期エリア拡張グランドオープンに合わせ50本限定で販売します。また、愛知県国際展示場で10月23日(水)・24日(木)に行われる「FOOD STYLE Chubu 2024 発酵食品ワールド」のあいち産業科学技術総合センターブースにて展示します。

食品工業技術センターでは、愛知県内企業の製品開発についての相談や問い合わせに随時対応しています。お気軽にご相談ください。



製品「深海ギョの魚醤
キンメダイまるごと」

●詳しくは <https://www.pref.aichi.jp/press-release/20241010.html>

●問合せ先 食品工業技術センター 保蔵包装技術室 電話：052-325-8094

◆三河木綿の色調を生かしたセルロースナノファイバーを開発しました

あいち産業科学技術総合センターは株式会社イチオリ(蒲郡市)の協力のもと、三河木綿の色調を生かした「三河木綿セルロースナノファイバー(CNF)」を開発しました。今回の開発では、既に染色された残糸をCNFに加工するため、薬剤、エネルギー及び洗浄水の削減が期待できます。

また、開発した「三河木綿CNF」はセンターの特許出願技術により抗菌剤に加工され、2025年版愛知県手帳限定版(三河木綿)の表紙に使用されています。この抗菌加工は、植物素材のCNFで抗菌活性粒子を織物に定着させるため、環境に優しく、天然繊維の風合いが残るのが特徴です。手帳は、10月18日(金)より販売を開始しています。

なお、手帳およびCNF応用品(ハンガー)は、10月30日(水)から11月1日(金)まで、ポートメッセなごやで開催される「メッセなごや2024」、10月24日(木)・25日(金)にふじさんめっせで開催される

「ふじのくにセルロース循環経済国際展示会」および11月15日(金)・16日(土)に蒲郡商工会議所で開催される「テックスビジョン2024ミカワ」で展示します。

センターでは、繊維製品の開発、セルロース加工技術・応用技術開発およびアップサイクルに関心のある企業の方々からの相談や問い合わせに随時対応しています。



2025年版愛知県手帳限定版(三河木綿)

- 詳しくは <https://www.pref.aichi.jp/press-release/20241011.html>
- 問合せ先 産業技術センター(CNF 及び手帳の抗菌処理に関すること) 電話：0566-45-6901
尾張繊維技術センター(繊維の試験に関すること) 電話：0586-45-7871
三河繊維技術センター(三河木綿に関すること) 電話：0533-59-7146

◆明日を拓くモノづくり新技術 2024「検査評価技術の最前線」の参加者を募集します

あいち産業科学技術総合センターは、名古屋市工業研究所、一般財団法人ファインセラミックスセンターの3試験研究機関および名古屋市商工会議所と共催で、2024年11月15日(金)にモノづくり新技術に関する合同発表会「明日を拓くモノづくり新技術2024」を開催します。

検査評価技術の最前線をテーマとし、名古屋大学大学院 教授 長野方星氏によるサーモグラフィを用いた次世代の熱物性計測法に関する基調講演に加え、付加価値の高いモノづくりのイノベーション創出を目指す3試験研究機関の成果発表を行います。また、成果発表後には名古屋市工業研究所内の見学会を開催します。

技術開発に取り組む方々を始め、どなたでも自由に参加できます。多くの皆様の御参加をお待ちしています。

- 日 時 2024年11月15日(金)13:00~17:00
- 会 場 名古屋市工業研究所 管理棟 第一会議室
- 定 員 会場80名(見学40名)(申込先着順)
- 参加費 無料
- 申込期限 2024年11月8日(金)
- 申込方法 下記申込ページまたは二次元コードから名古屋商工会議所のWebページにアクセスし、お申込みください。

- 詳しくは <https://www.pref.aichi.jp/press-release/20240930.html>
- 申込ページ <https://www.nagoya-cci.or.jp/event/event-detail.html?eid=6369>
- 問合せ先 あいち産業科学技術総合センター 企画連携部 電話：0561-76-8306



◆知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期成果普及セミナー 「位相コントラストX線CTの体験セミナー」の参加者を募集します

「知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期」の研究テーマのうち、「革新的モノづくり技術開発プロジェクト」の成果である「プラスチックや食品など軽元素が主体となる試料の構造を可視化できる」位相コントラストCTについて、ラボ機を用いた吸収コントラストCTとの比較結果を基にした講義と、実際に装置を用いた測定実習を開催します。皆様の御参加をお待ちしています。

○日時 2024年11月29日(金)10:00~17:00

○開催形式

＜セミナー＞あいちシンクロトロン光センター2階
大会議室

＜測定実習＞あいちシンクロトロン光センター ビームライン BL8S2

○定員 10名(申込先着順)

○参加費 無料

○申込期限 2024年11月22日(金)17:00

○申込方法 下記URL、二次元コードまたはメールにてお申込みください。

●詳しくは <https://www.pref.aichi.jp/press-release/r06pm4-seminar.html>

●申込ページ <https://www.aichi-inst.jp/acist/other/seminar>

●問合せ先 あいち産業科学技術総合センター 技術支援部

電話：0561-76-8315 E-mail：seminar@chinokyoten.pref.aichi.jp



◆「材料表面改質トライアルコア講演会」の参加者を募集します

尾張繊維技術センターは、繊維製品の機能加工に関する技術情報等を紹介する「材料表面改質トライアルコア講演会」を開催します。

ダイキン工業株式会社の山本育男氏をお招きし、繊維用撥水撥油剤の概要、撥水撥油性を発現するメカニズム、およびバイオベース原料を用いた撥水剤について紹介します。

○日時 2024年12月13日(金)14:00~16:10

○会場 尾張繊維技術センター 本館3階展示室

○定員 30名

○参加費 無料

○申込期限 2024年12月9日(月)17:00

○申込方法 下記URLまたは二次元コードからお申込みください。

●詳しくは <https://www.pref.aichi.jp/press-release/20241018z.html>

●申込ページ <https://www.aichi-inst.jp/owari/other/seminar/>

●問合せ先 尾張繊維技術センター 機能加工室

電話：0586-45-7871 E-mail：owari-seminar@aichi-inst.jp



◆センター職員が指導功労者として中部科学技術センター会長賞を受賞しました

産業技術センター常滑窯業試験場の福原徹場長が指導功労者として、中部科学技術センター会長賞を受賞しました。これは、地場産業の社会的なニーズであるSDGsやカーボンニュートラルを実現するため、セラミックスの技術シーズ「無機層状化合物」を活用した商品開発、実用化支援を行ったことが評価されたものです。

今後もこの技術を生かし、企業の皆様と地域を支えるパートナーとして、より一層お役に立てる

よう努めてまいります。



矢野経済産業局長(左)と福原場長

●問合せ先 産業技術センター常滑窯業試験場 電話：0569-35-5151